

2015年12月期 通期決算発表

2016年2月9日

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者

サラ L. カサノバ

ビジネスリカバリープラン

2015
堅固な基盤づくり

2016
転換・収益性回復

1. よりお客様にフォーカスしたアクション
2. 店舗投資の加速
3. 地域に特化したビジネスモデル
4. コストと資源効率の改善

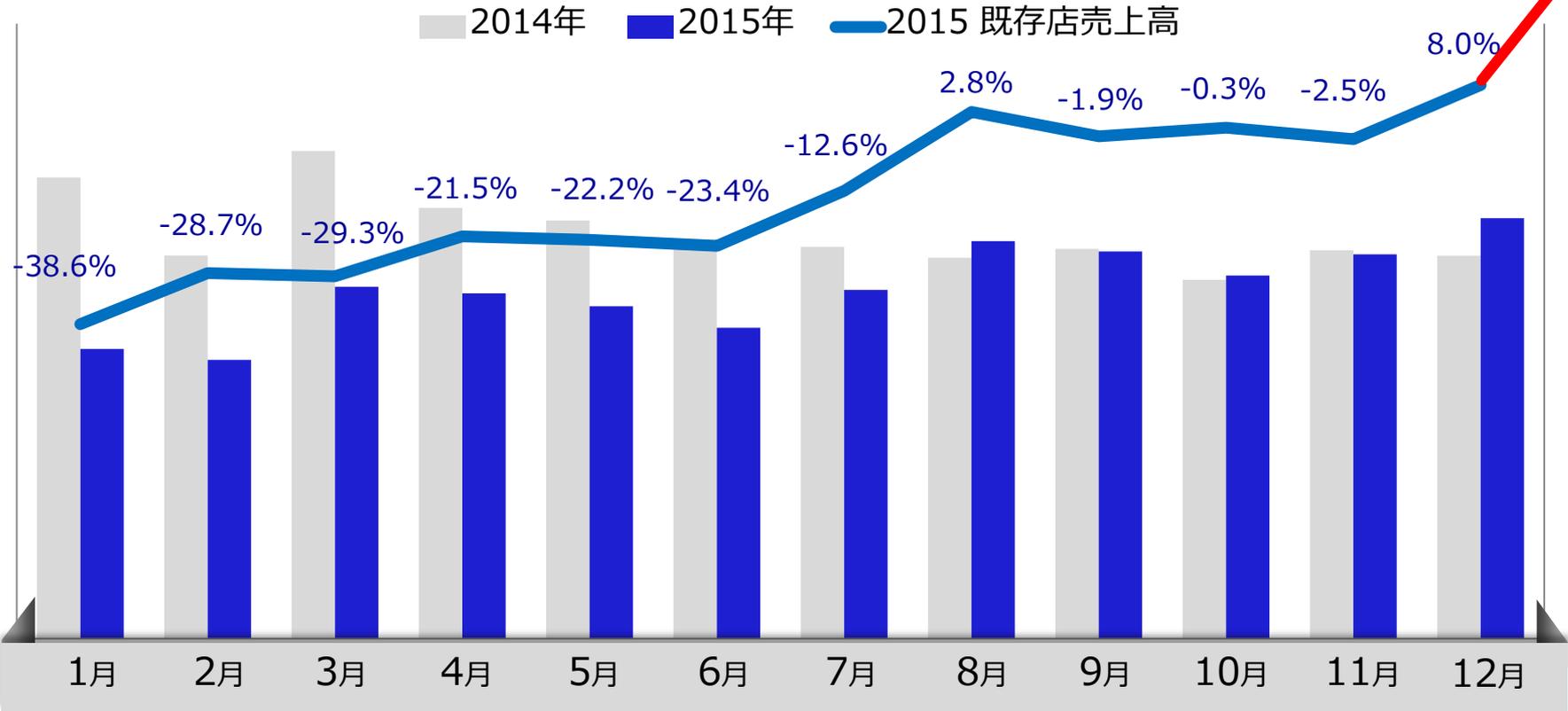
2015年 実績

2015
堅固な基盤づくり

	上期	下期	実績	業績予想
全店売上高	1,720 億円	2,045億円	3,765億円	3,820億円
既存店売上高 対前年比	-27.5%	-1.2%	-15.2%	-13.5%
経常利益（損失）	-195億円	-81億円	-276億円	-310億円
当期純利益（損失）	-262億円	-85億円	-347億円	-380億円

店舗平均月商の改善状況

2016年1月
35.0%



よりお客様にフォーカスしたアクション：2015年

堅固な基盤づくり



Food Safety/Quality



よりお客様にフォーカスしたアクション：2016年

Fun & Passion



McChoco
Potato

北海道産
ほくほくポテトと
チェダーチーズに
焦がし醤油風味の
特製オニオン
ソースが効いた
ジューシービーフ
バーガー
(仮)
¥390 SET ¥690



ちょっと長すぎるので新しい名前を募集します



店舗投資の加速 既存店改装



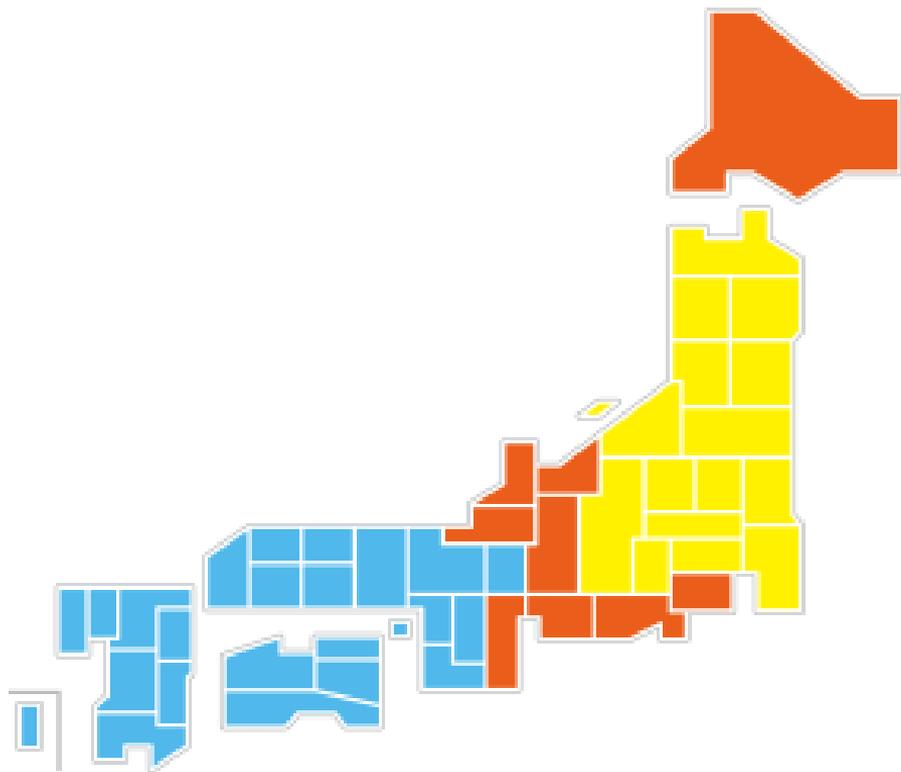
2015
堅固な基盤づくり

408店舗
の改装を実施

2016
転換・収益性回復

500 ~
600店舗
の改装を予定

地域に特化したビジネスモデル



2016年 見通し

全店売上高
既存店売上高 (%)
経常利益
当期純利益

4,250億円

17.6%

22億円

10億円

1. よりお客様にフォーカスした
アクション

- ⌘ マクドナルドらしいメニュー
- ⌘ ブランドプロモーションの強化
- ⌘ お得感を打ち出したバリュープログラム
- ⌘ 最高の店舗体験の提供

2. 店舗投資の加速

- ⌘ 500~600店舗の改装

3. 地域に特化したビジネスモデル

- ⌘ 地域のお客様との繋がり構築

4. コストと資源効率の改善

- ⌘ リソースの最適化

*Modern
Burger
Restaurant*

THAT CONNECTS
WITH CUSTOMERS



2015年12月期 通期決算発表

日本マクドナルド株式会社
財務本部 上席部長

増田 雄高

2015年12月期 通期決算（対業績予想）

(百万円)

	通期		増減(対業績予想比)	
	業績予想	実績	増減額	%
全店売上高	382,000	376,552	-5,447	-1.4%
既存店売上高(%)	-13.5%	-15.2%		
売上高	200,000	189,473	-10,526	-5.3%
営業利益（損失）	-25,000	-25,233	-233	—
経常利益（損失）	-31,000	-27,691	3,308	—
当期純利益（損失）	-38,000	-34,704	3,295	—
一時的な費用および投資を除いた 当期純利益（損失）	-12,500	-11,904	596	

一時的な投資および費用

(億円)

	通期見込 4/16 公表値	通期実績		
		経常利益 に対する 影響額	特別損失	合計
店舗投資の加速	58	13	31	44
早期希望退職制度	8	0	6	6
フランチャイズ関連の財務施策	126	135	0	135
減損損失	49	0	35	35
マーケティング費用等の投資	14	7	1	8
合計	255	155	73	228

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年	前期末比増減
流動資産	34,322	-14,182
有形・無形固定資産	80,989	3,334
投資その他の資産	63,362	1,473
合計	178,673	-9,374

	2015年	前期末比増減
流動負債	41,071	13,600
固定負債	28,516	15,679
純資産	109,086	-38,654
合計	178,673	-9,374

キャッシュフロー計算書

	2014年	2015年
営業活動によるキャッシュフロー	-13,652	-14,787
投資活動によるキャッシュフロー	-12,310	-12,883
財務活動によるキャッシュフロー	-5,532	19,470
増減額	-31,511	-8,239

2016年度業績予想

2016年12月期 業績見込

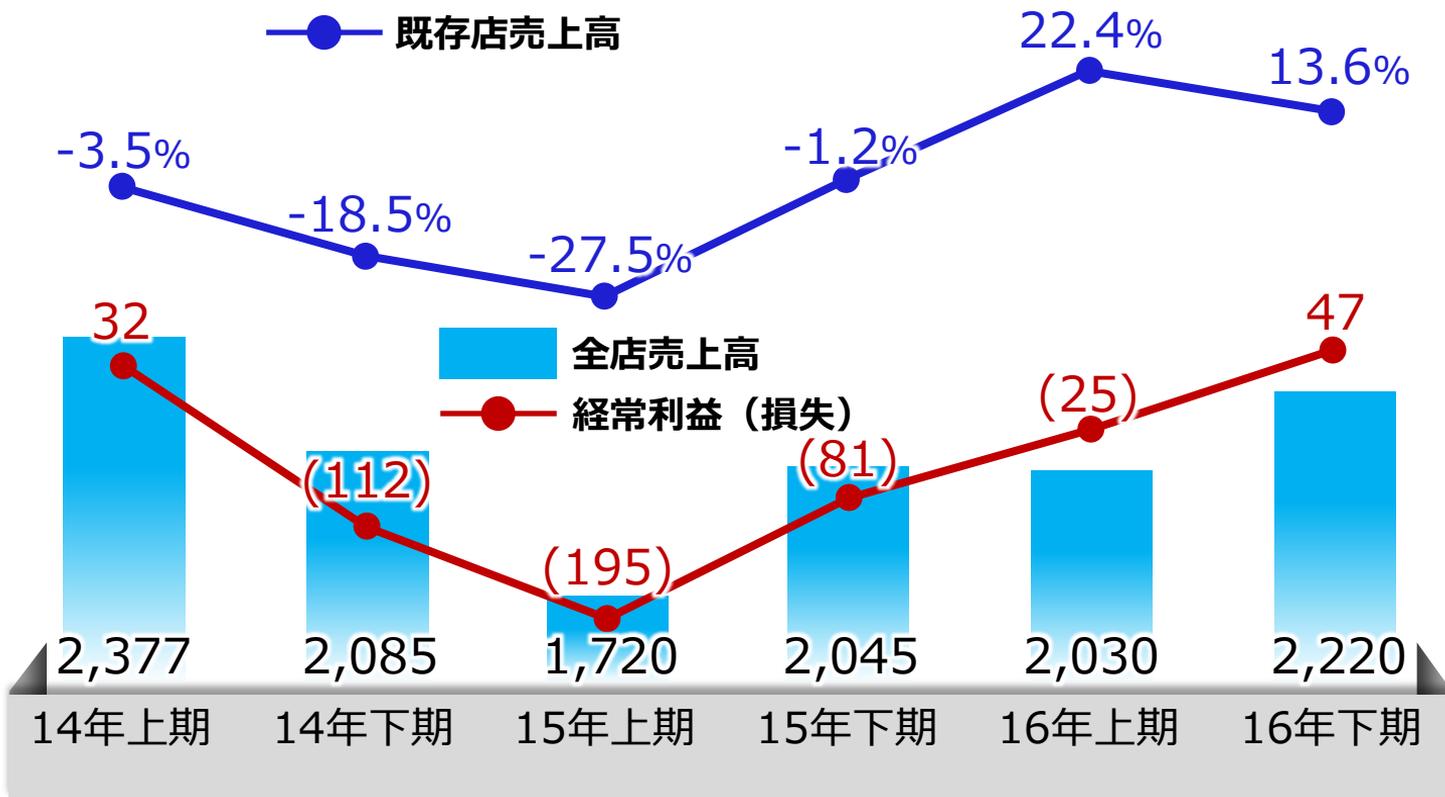
(百万円)

	半期見込		通期見込	
	上半期	下半期	通期	前年同期比
全店売上高	203,000	222,000	425,000	48,447
既存店売上高(%)	22.4%	13.6%	17.6%	
売上高	104,000	116,000	220,000	30,526
営業利益 (損失)	-1,800	5,100	3,300	28,533
経常利益 (損失)	-2,500	4,700	2,200	29,891
当期純利益 (損失)	-1,800	2,800	1,000	35,704

当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益

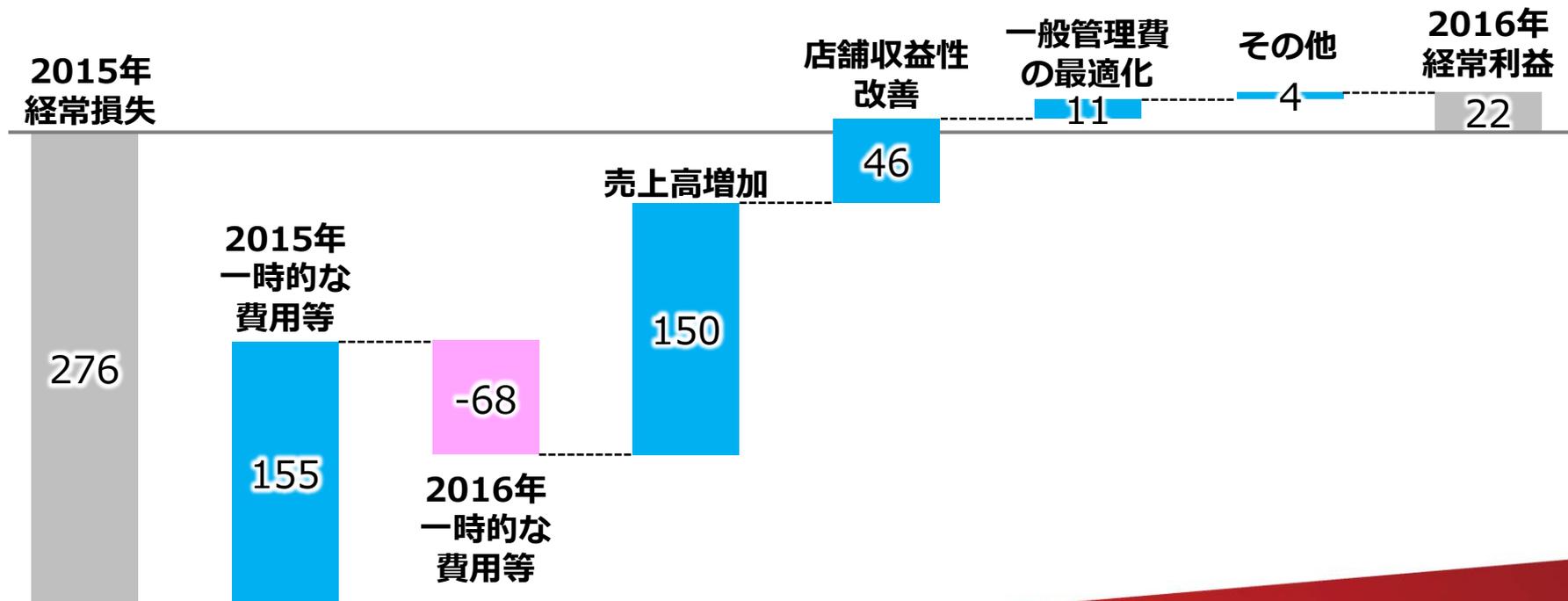
売上高 / 経常利益

(億円)



2016年度經常利益（対前期比）

(億円)



店舗開発 / 設備投資

(億円)

	2015		2016	
	店舗数	設備投資額	店舗数	設備投資額
新店	16	22	5 ~ 10	10
リモデル / 既存店投資	408	94	500 ~ 600	170
閉店				
通常閉店	52	-	30 ~ 60	-
戦略的閉店(※)	131		0	
ビジネスインフラ		47		10
合計		163		190

(※)2015年に計画した戦略的閉店はほぼ完了し、2016年の初期に終了します。

2016年12月期 業績見込

(百万円)

	半期見込		通期見込	
	上半期	下半期	通期	前年同期比
全店売上高	203,000	222,000	425,000	48,447
既存店売上高(%)	22.4%	13.6%	17.6%	
売上高	104,000	116,000	220,000	30,526
営業利益 (損失)	-1,800	5,100	3,300	28,533
経常利益 (損失)	-2,500	4,700	2,200	29,891
当期純利益 (損失)	-1,800	2,800	1,000	35,704



2015年12月期 通期決算発表

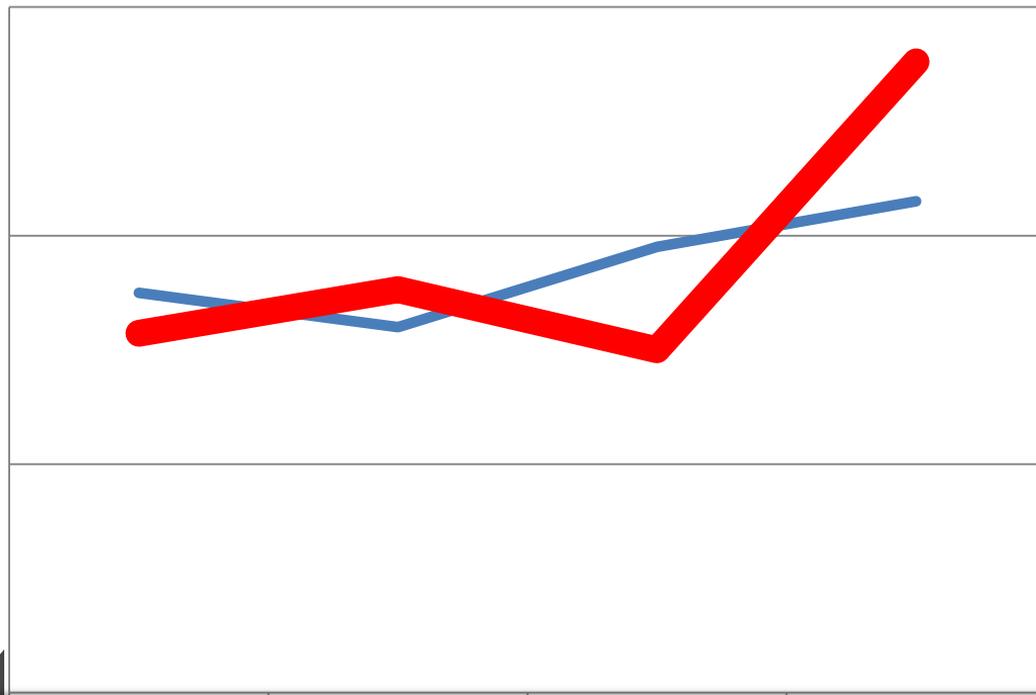
日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役副社長兼COO

下平 篤雄

よりお客様にフォーカスしたアクション

— 総合満足度

— 既存店売上前年対比



9月

10月

11月

12月

2015年

QSCの向上
↓
セールスの向上

よりお客様にフォーカスしたアクション

- ◎おもてなしサービスの強化
- ◎店舗改善ツールの見直し
- ◎コンサルタントの強化
- ◎店舗人材への投資



Table



Toilet



Floor

よりお客様にフォーカスしたアクション

- ◎ クルーオリエンテーションとトレーニングマテリアル
- ◎ 店舗マネージャーのトレーニングプログラム
- ◎ コンサルタントのスキル向上



クルー



店舗マネージャー



コンサルタント

店舗投資の加速

- ◎デュアルポイントサービスの導入
- ◎ドライブスルーの強化
- ◎日本人デザイナーによるグラフィックデザインの導入
- ◎Free Wi-Fiの導入
- ◎セルフオーダーキオスクのテスト導入



地域に特化したビジネスモデル

- ◎ 地域発の商品の拡大
- ◎ 店舗毎のイベントの開催
- ◎ FCオーナーによる行政との協力体制の確立



NGT48とのコラボレーション



マックアドベンチャー



岐阜県警とのコラボレーション

*Modern
Burger
Restaurant*

THAT CONNECTS
WITH CUSTOMERS